

「開腹手術をするくらいなら
様子を見ます」

と諦めている婦人科患者さんはいませんか？



はじめまして、生長会府中病院 産婦人科の山崎 則行（やまさき のりゆき）と申します。
当科は和泉市の基幹病院としてスタッフ6名、専攻医2名の計8名が和泉市の地域医療
に従事しております。

その中でも特に低侵襲手術に力を入れており、手術支援ロボット（da Vinci Xi）を用い
たロボット支援下腹腔鏡手術も積極的に行っています。今回は、最先端の機器と手技を駆
使した腹腔鏡、ロボット支援下手術を当科、ロボット手術センター兼任の山崎 亮医長より
紹介させていただきます。

「開腹手術をするくらいなら このまま様子をみます・・・」

と諦めている患者さんはいませんか？

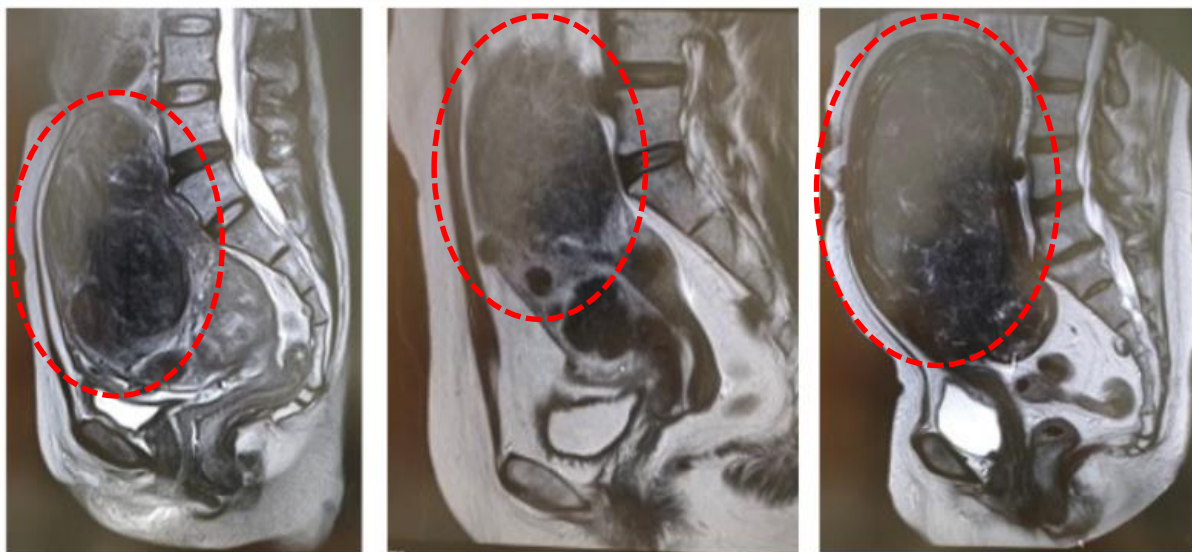
当院は積極的に低侵襲手術を行っています

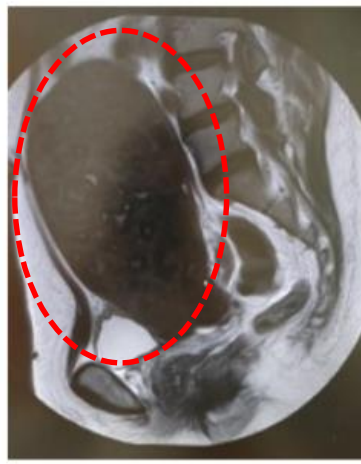
はじめまして、産婦人科医長・ロボット手術センターの山崎 亮（やまさき りょう）と
申します。

腹腔鏡・ロボット支援下手術の発展に伴い、低侵襲手術の適応範囲は広がっていま
す。私は2023年度から府中病院に赴任いたしました。赴任後の4月～8月までの期間にロ
ボット支援下子宮全摘術を9件、ロボット支援下仙骨腔固定術を7件、腹腔鏡下子宮全摘を
18件、腹腔鏡下仙骨腔固定術を10件行っており、特に仙骨腔固定術に関しては泉州地域で
トップクラスの実績もっています。

本稿では、当院における腹腔鏡・ロボット支援下手術の取り組みについてご説明させて
いただきます。

これまでに治療した巨大子宮筋腫のMRI画像





先生方も、臍の高さよりも大きい子宮腫瘍を目にすることがあると思います。そういった患者さんの中に「お腹の出っ張りはしんどいけど、それでも開腹手術はしたくない」と訴える方はいなかったでしょうか。

上図で示した巨大子宮筋腫は、全て低侵襲手術を行った症例です。当院ではロボット支援下もしくは腹腔鏡手術を行うにあたり、子宮のサイズに制限はなく、可能と判断すれば低侵襲手術を行っています。

ロボット支援下もしくは腹腔鏡下子宮全摘で最も重要となるのは「子宮頸部周辺の術野展開の可否」であり、子宮体部～底部の大きさはあまり影響しません。

ロボット支援下手術では鉗子の関節機能や手ブレがないこと、高性能3D立体視などいままでの腹腔鏡手術と比較し多くの利点がありますが、そのことでより出血が少なく、繊細な手術が可能となりました。

「常に腔になにか挟まっている感じがする・・・」

「腔内リングはいれたけど、違和感やオリモノがしんどい・・・」

と訴える患者さんに、再発率が少ない高度な医療を

骨盤臓器脱（子宮脱、膀胱瘤、直腸瘤など）は腔から腔壁とともに骨盤内臓器が脱出する疾患です。経膈分娩回数や加齢、立ち仕事や力仕事、高度な肥満などがリスクとなり、50歳以後の3～4割程度の女性が異物感や排尿困難感などの何らかの症状を有するといわれています。

当科では、ロボット支援下または腹腔鏡下にメッシュを用いて子宮を腰椎や仙骨に吊り上げる仙骨腔固定術（RSC）もしくは腹腔鏡下仙骨腔固定術（LSC）を数多く行っています。従来の腔式子宮全摘術及び腔壁形成術などは利点もありますが、一般的に20%～30%ほど再発する方がいると報告されています。

一方、メッシュを用いた手術は再発が少なく、10%以下といわれています。症状や程度・年齢を考慮しRSCやLSCに保存療法としての腔内リングや従来法の手術を組み合わせ、患者さんに最適な治療を選択します。

**骨盤底での操作や縫合結紮の手技を多用する仙骨腔固定術は、
関節機能を有し手ブレがないda Vinci手術がより効果を発揮する
一方で修練によって腹腔鏡手術でも同様のクオリティを保っています**

ご紹介のポイント

骨盤臓器脱

骨盤臓器脱の治療の基本は手術療法となります。位置矯正で保存的にリングペッサリーを挿入し症状が緩和することもあります。長期的な目線で考えると手術療法が適する場合があります。適切な手術療法のタイミングを逃さないために、どのような症状でも一度ご紹介ください。実際の手術の話や術後の患者さんの経過などお話をさせていただきます。RSC、LSCをすることで「手術をやってよかった」「安心して旅行や温泉に行くことができます」とおっしゃる患者さんをみて、やりがいを感じています。

保存的にリングを挿入し経過が良い場合も、びらんや出血、帯下の増量、腔内の違和感を感じていれば紹介していただくタイミングの一つになると思いますので是非よろしくお願いたします。

巨大子宮筋腫

巨大子宮筋腫に関しては、閉経し月経症状が無くなったとしても臓器圧迫症状は残存します。また下腹部痛などの症状が生じた場合に、骨盤内を占拠する子宮腫瘍が存在すると、原因が他にあっても子宮由来を除外できないことがあります。

「開腹手術ではなく低侵襲手術であれば治療を考える」という患者さんがいれば是非当院で相談させてください。常にお腹を占拠していた巨大子宮筋腫が小さな傷でなくなると、みんなすっきりされています。

また更年期障害に対するホルモン補充療法を開始するにも、巨大子宮腫瘍を有すると治療を躊躇してしまうこともあると思います。同様に、今まで月経症状で悩んでいた患者さんが、ホルモン補充療法を希望した際、「子宮内膜がんを起こさないため、投薬による子宮出血が必要です」と伝えると、月経の苦い経験からホルモン補充療法行わずに更年期症状を我慢される患者さんもいます。そういった場合も、是非当院に一度紹介していただけたらと思います。低侵襲手術を通し女性のヘルスケアの選択肢を広げることに貢献できたらと考えています。

さいごに

地域の先生方とともにこれからもよりよい医療を追求させていただきます。「府中病院に紹介してもらえてよかった」と患者さんに言っていただけるよう精進していきますので、よろしくごお願い申し上げます。

今月の
担当医師



産婦人科 部長

山崎 則行 (ヤマサキ ノリユキ)

■資格

日本産科婦人科学会専門医・指導医
母体保護法指定医
兵庫医科大学臨床教育教授
難病指定医

今月の
担当医師



産婦人科 医長

ロボット手術センター

山崎 亮 (ヤマサキ リョウ)

■資格

・日本産科婦人科学会専門医
・日本内視鏡外科学会技術認定医（産科婦人科）
・日本産婦人科内視鏡学会腹腔鏡技術認定医
・ロボット（da Vinci）手術認定医
・日本がん治療認定医機構がん治療認定医

m3.comへ移行します



府中病院の記事を
ご覧いただけます

婦人科（完全予約制）

	月	火	水	木	金	土
午前	山崎(則) 菰池	稲垣	山崎(則) 山崎(亮)	中西	木下(弾) 山崎(則) 初診	—
午後	山崎(則)	稲垣	木下(弾)	中西		—

・診療体制は変更する場合がございますので、事前にご確認くださいませお願いいたします。

ご予約の申し込み・お問い合わせは

地域医療連携室までご連絡ください



[TEL]0725-40-2147 [FAX]0725-40-2148

【予約受付時間】

●月曜～金曜:午前9:00～午後8:00まで ●土曜:午前9:00～午後5:00まで

※上記時間外及び日曜・祝日は業務を行っておりません。

※予約申込書は〈府中病院ホームページ〉よりダウンロードしていただけます。

New

当院にて開催予定のセミナー・勉強会・イベントをご紹介します！

2023.10月

第37回病診オープンカンファレンス（循環器内科）

日時：2023年 10月 19日（木） 15：00～16：00

場所：府中病院 健康教室（東館1階）

※ハイブリッド開催・事前申込制



2023.12月

第20回府中臨床懇話会

日時：2023年 12月 16日（土） 15：00～17：00

場所：府中病院 セミナーホール

※会場開催・事前申込制



お申し込みは地域医療連携室 0725-40-2147 までご連絡ください

無料送迎バスのご案内

※泉大津駅発着場は西口（海側）ロータリーです

時間	府中病院 発		泉大津駅 発	
8	—			40
9	10	50	20	
10	30		00	40
11	10	50	20	
12	30		00	40
13	10	50	20	
14	30		00	40
15	10	50	20	
16	—		00	

※和泉中央駅発着場は一般乗降場です。

時間	府中病院 発	和泉中央駅 発
8	—	30
9	5	30
10	5	30
11	5	30
12	5	30
13	5	30
14	5	30
15	5	30
16	5	30

※日祝日の運行はいたしておりません。

※交通事情により遅れる場合がございますのでご了承ください。

※府中病院発着場は西館正面玄関前です

就任のご挨拶

2023年9月16日付で、地域医療連携室長を拝命いたしました。

日頃より、当院との医療連携および介護連携、在宅連携にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

私は、和泉市に生まれ、府中病院に就職して25年目となります。これまで企画室で総合職として経営に携わってきました。

微力ではございますが、地域の医療機関の皆様と一緒に、この地域のために、誠心誠意努力して参ります。何卒一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

地域医療連携室長 奥村峰和

平素より当院の地域医療連携室にご理解ご協力賜り有難うございます。この度、地域医療連携室長補佐を拝命いたしました田中雅樹と申します。

地域の医療機関の皆様と一緒に、地域の患者さんのために医療連携をスムーズに運べるよう、誠心誠意努力して参ります。

今後も引き続き、ご支援賜りますよう何卒よろしくようお願い申し上げます。

地域医療連携室長補佐 田中雅樹



VSRAD
ブイエスラド

早期アルツハイマー型認知症診断支援システム

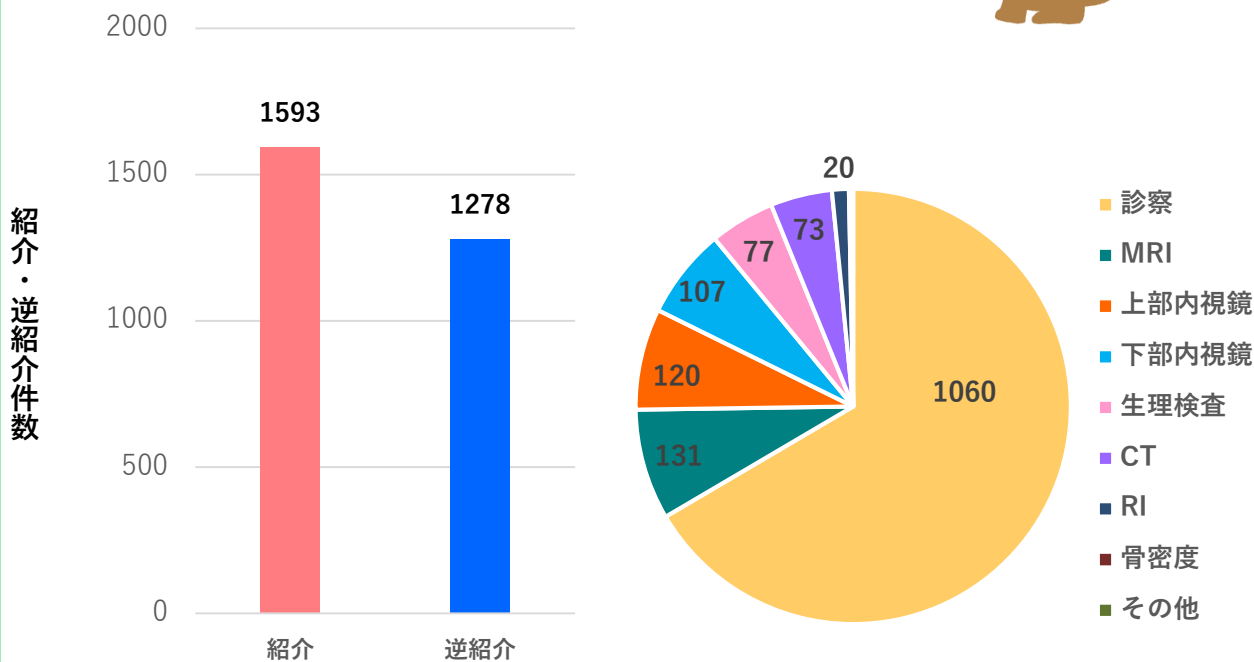
MRI 画像を使って脳の萎縮度をみる検査です！

もの忘れが気になる方で**54歳～86歳**の方が対象になります。
当院では地域の医療機関の先生方より頭部MRI+MRA 単純検査に追加撮影「**VSRAD(ブイエスラド)**」のご依頼を承っております。
VSRAD 検査をご希望される場合は、画像検査申込書の備考欄に「**VSRAD 希望**」とご記入いただくか、もしくはお電話での**検査予約時にお申し出ください。**



にこまる

紹介実績 〈2023年9月〉



府中病院のさまざまな情報をお届けします！

府中病院
ホーム
ページ



ねっとわーく Vol.240

発行責任者：院長 竹内 一浩

編集責任者：地域連携部 家口 尚

編集者：地域医療連携室 鶴 真紀子

〒594-0076 和泉市肥子町1丁目10番17号 府中病院地域医療連携室

TEL：0725-40-2147 予約専用フリーダイヤル：0120-40-2147

FAX：0725-40-2148 E-mail：chiikirenkei@fh.seichokai.or.jp

私たちの理念

愛の医療と福祉の実現

地域と職員と共に栄えるチーム

Yu·ki·to·do·ku ゆき届いたサービス

私たちの基本方針

チームとして、そしてパートナーとして
チャレンジします。

3つのベストにチャレンジします。